

総務委員会会議録（要点筆記）

平成30年2月16日（金）

午後 2時45分 開会

○成田吉毅委員長

ただいまから総務委員会を始めます。

本日、マスコミの方の傍聴の希望がございますので、これを許可してよろしいでしょうか。

【「はい」との声あり】

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午後 2時45分 休憩

午後 2時46分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

本日の資料及び内容については、後日の2月18日の検討委員会の前でございますので、情報等の取扱いについては十分にご留意いただきたいと思っております。まず、先回1月22日の検討委員会の内容について概要で結構ですので、そちらの報告と2月18日の検討委員会についてどのような話をどんなかたちで行われるかということをご説明をお願いします。

○大嶽病院管理課長

1月22日に行われました検討委員会について説明をさせていただきます。当日は新病院建設候補地について、4つの項目から組み立てて説明をさせていただきました。1つは第1回目の会議での主な意見をまとめさせていただきました。具体的に言いますと市街化調整区域に建設した場合時間がかかるということだったら、期間を短縮するめどはあるのかとか、半田運動公園、北部グラウンドに移転した場合に経営を圧迫するのではないかと、時間をかけてしまうと半田病院そのものが消滅してしまう可能性があるから早く建設することが命題であるなどの意見、そういった主な意見をあらためて文字に起こして紹介をさせていただきました。それから2つ目としましては、雁宿ホールを含めた建設コストと工期についてスクリーンで説明をさせていただきました。雁宿ホールの適切と考えられる点と課題点についてまとめたものを述べさせていただきました。建設コスト、工期につきましては、以前の委員会でもお出ししました運動公園と北部グラウンドと雁宿ホールの建設費、インフラ整備費、代替施設費、開院予定がどれだけになるか、いつになるかというような表を披露させていただきました。3つ目の点につきましては活断層です。活断層については地形図を基にそれぞれ阿久比東部撓曲、半田池撓曲、加木屋成岩断層の3つの撓曲、断層について説明をさせていただきました。活断層につきましては、当日名古屋大学の教授の先生お二人に出席をいただいたものですから、その先生方からアドバイスを頂戴いたしました。最後に経営面につきましては、収支計画の前提条件をご披露しまして、算定条件、病床数411床、入院稼働率、外来患者数、正規職員数そういった算定条件を基に収支計画をグラフで表示をさせていただきました。その他には半田病院、常滑市民病院、知多厚生病院、刈谷総合病院、半田病院周辺のそれぞれ医療機関の病床機能、区分、例えば高度

急性期なのか、急性期なのか、回復期なのか慢性期なのか、そういった区分及び病院の役割、例えば救命センターなのか災害拠点病院なのか等々の病院の役割といったものをスクリーンの方で紹介をさせていただきました。最後に半田市の地区別の人口分布、亀崎地区、乙川地区、半田地区、協和・成岩地区にそれぞれ現在何名の方がおみえになるかというようなことを披露して、会議は終了いたしました。

○成田吉毅委員長

引き続き、今日の資料についてのご説明をお願いします。

○都築病院管理課主幹

【資料に沿って説明】

○小栗佳仁委員

15分以内という円、30分以内という円、この円を描くときに商圈と確かおっしゃられたのですが、これは病人が利用する病院なので、商圈とは全く違った形態となるかと思うのです。病気の方が30分圏内に自分で車を運転していくことはないだろうし、路線を乗り継いでいくこともないだろうし、バスを乗り継ぐという考えはないと思うのですが、それはどうしてこういう円になったのかということをお伺いしたい。

○都築病院管理課主幹

そのあたりはまだすみません、これを作ったのが出典先の名大の先生の方で作っていたものですけれども、一般的にこういうデータを判断するうえで、こういった記載をするというものだものですから、先ほどのように確かに商業施設がお客さんを集客するために使うような、時間で計る方法が妥当かどうかという問題はあるかと思いますが、とりあえず今のところこういうかたちでデータの抽出を行い、整理を行っているものでございますので、私どもはそれに手を加えずにこちらの方に出させていただきます。

○小栗佳仁委員

とすると、患者さんの立場に立って、物事がここで図を見た瞬間に考えられていないという気がするのです。やっぱり、患者さんがどれぐらいの距離のところをどう半田病院に訪れているのかというのが、前段のアンケートの中でわかればある程度、この円に沿った位置になるかと思うのですが、そこがない中で商圈の円を描かれてこうなりますと言われたときに、一般的に納得できるのかというところで、いまだ腹に落ちないのですけれども、そこをその名大の言われている値が正であるという考え方で、今こうやってこのパワーポイントの資料をつけて皆さんに説明していることですか。

○都築病院管理課主幹

こちらについては、一応これが一般的な統計上の扱い方なのだというふうで理解させていただきます。

○成田吉毅委員長

他にものさしがないということですね。

○堀寄副市長

2回目の委員会の前に、この検討会議の参集をかけたときに、半田市は新たに私有地を買収して病院建設をするには時間的余裕がないので、また、病院の今の新病院建設の最大の命題は早く造ることであるので、新しく用地買収を伴うような土地は買いません、買って造りませんという、すなわち今市が持っている土地で造りますということで、第1回目

の会議を開かせてもらいました。その時に少し想定外だったのですが、実は会長の瀬口先生は都市計画の先生でしたので、今の雁宿ホールも市の土地ではないかと、その土地、雁宿ホールを壊して、そこにもう一回造ればいいのではないかと、市の想定にない提案を1回目に頂きました。それで1回目の会議は終わりました、2回目の会議の中でどういった流れだったかという、2回目の会議は先ほど主幹が説明したように、1番はもう一つ撓曲、活断層の近くに病院を果たして造っていいものかというところが一つの大きなテーマでありました。その活断層のことについては、2人の先生からお話を伺ったのですが、どの場所を選定するにしろ、やはりその場所で起こりうることを想定して設計の中に最大限反映させなさいと、実はこの庁舎もそうだったのですが、地震が来るときのために免震構造をしっかりと作りましょうという、要はそこから逃げるという発想ではなくて、そこに造るのであれば、そこでしっかりとしたものを作りなさいというアドバイスを両先生からいただいて2回目の会議がスタートしました。で、2回目の会議を進めていく中で、少し1回目もそうだったのですが、何を最重点に考えるかということで、議論がかなり拡散します。やはり現実的に話に出てきたのは、コミュニティバス、どうやって新しい病院に対する足を確保するのかという話を前段でしております。そういう意味では雁宿ホールが一番ではないかということ、瀬口委員そのものがおっしゃられて、ただコミュニティバスについては、今日の全員協議会でも少し報告しましたが、来年度から走らせることになっている計画があるのでということ、足の重要性みたいなところについては議論を終えました。あと議題で、中身で出たのは臭気があるけどどうかというようなことも出たのですが、これは病院の渡邊副院長が、臭気の問題が確かにあるけれど病院建設にとって、大きなファクターではない、要はそれを第一優先にしてしまうと間違った方向に行ってしまうとお話をされて臭気の話についてもそれほど大きな問題にはならず議論は進みました。そうした議論の中で、花井先生が途中で半田運動公園の方がコンセプトを優先して考えるのであれば、理論上正しいですという発言をされて、全体の会議の流れが少し半田運動公園の方に引っ張られたかたちになりました。その意見を受けて、区長会長の小栗さんの運動公園辺りがどの地域から行っても同じぐらいの距離にあるのではないかと発言をされており、みんなが断定的に運動公園だということは発言されなかったのですが、ニュアンス的には運動公園の方が少し優先ではないかという話がでました。さっき話題になった実はアンケートとこのDPCデータについては、そういった意見を踏まえて第3回目の会議のときにもう少し判断するための材料として、渡邊副院長の方が病院で患者さんのアンケートをやりますということをおっしゃられました。それとは全く別の次元で名古屋大学病院の方もこういうDPCという分析の仕方があるので参考になるかどうかわからないけれども、そのデータを提供しますということで、今日さっき主幹が説明したアンケートとDPCデータについては白黒はっきり出ているわけではないのですが、これが2回目の議論を受けて3回目に判断するにあたっての材料として活用しようということで、このデータを3回目に出して議論しますということになりました。2回目の最後には実は最初に提案のあった雁宿ホールの話がまだ生きていましたので、雁宿ホールについてはやはり時間がかかるということと代替施設を造らなくてはいけないということがあるので、同じ土俵に上げるのは難しいですと私が発言したのを受けて、会長がでは雁宿ホールはもうなしですということになりました、3回目

の会議では北部グラウンドか運動公園かについて、さらに深めた議論をしましょうという流れになったものであります。というのが大きな流れです。

○成田吉毅委員長

記録はいつ頃出来上がるのでしょうか。

○大嶽病院管理課長

2月18日今度の日曜日の会議には、委員の皆様にお渡しするということになります。

○成田吉毅委員長

しばらく休憩します。

午後 3時25分 休憩

午後 4時00分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。

様々な意見をいただきました。次回のこの会は2月27日補正予算審査に係る総務委員会終了後に行いますのでよろしく申し上げます。本日の総務委員会は閉会いたします。

午後 4時01分 閉会